



## パナソニックミュージアム とは

創業者・松下幸之助の経営観、

人生観に触れられる 松下幸之助歴史館

パナソニックのものづくりのDNAを探る

ものづくりイズム館

ソメイヨシノ190本を配した公園

さくら広場

にて構成されています。

ものづくりの姿勢を学ぶため、りょうわ小町で「パナソニックミュージアム」の見学に行きました。

「松下幸之助歴史館」では松下幸之助の歩んだ94年の道を追体験できます。幸之助のこぼれ、肉声に触れ、幾多の苦難を乗り越える過程で見出した、幸之助の経営観・人生観に触れることができます。「ものづくりイズム館」ではパナソニック創業100年来の貴重な家電製品約550点が一堂に展示されています。松下幸之助の高い志、その熱き思いを受け継いだ数多の先人の“ものづくりスピリッツ”を感じることができます。見学の様子と感想を紹介します。



松下幸之助歴史館



松下幸之助歴史館



松下幸之助歴史館



さくら広場

貧しい環境の中で商いを学び、“電気”に可能性を見出して事業を築いた松下幸之助氏のバイタリティに深く感銘を受けました。人を育て、知識を惜しみなく伝える姿勢から、個人や企業の利益を超えて、社会全体を豊かにするという志の大切さを学びました。ものづくりイズム館では、これまで発売された様々な製品が展示されており、昔の製品には独特のデザインや温かみがあり、レトロな魅力を感じました。機能だけでなく、見た目にもこだわりがあった当時のものづくりの精神に心惹かれました。 小舟



松下幸之助歴史館

↑創業の家



→ 大きさの比較

松下幸之助歴史館



↑1996年と2002年のノートパソコン



ものづくりイズム館

ものづくりイズム館では身近な電化製品の昔の姿に懐かしさを感じつつ、昔の知らない姿も知ることができ、面白かったです。特に2000年に入ってから、数年の差で、薄さや大きさが大きく変わっていたり、新たな電化製品が生まれたり、文明の進化を感じました。 荒木



松下幸之助誕生からの生き方や考え方、功績が年別で展示されており、大きく残った印象は「向上心を持ち人を思いやる心がとてもある人」でした。松下電器の頃、1927年当時32歳の時に「ナショナルランプ」の広告を自ら打ち出すなど様々なことに挑戦する思い切りの良さは心打たれるものがありました。社員や業界、製品を必要とする人々を思う心があったからこそその発展だったのかと感じました。 幸喜



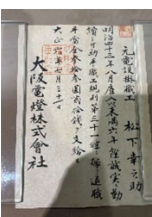
松下幸之助歴史館



松下幸之助歴史館



外観



↑15歳(1910：明治43年)で入社した



大阪電燈の退職金辞令(1917：大正6年)

↓ラジオ第1号

松下幸之助氏の理念に直接触れ、企業の利益追求にとどまらず、「社会を良くする」という強い使命感を持って経営してこられたことに深く感銘を受けました。社会全体の幸せを願い、技術や仕組みを独占するのではなく広く役立てようとする姿勢や、「自分たちの仕事を通じて世の中に貢献する」という信念は、当社の創業者の思いとも重なる部分であり、改めて当社の原点を見つめ直す、貴重な機会となりました。 桒本



松下幸之助氏の濃密な生涯を垣間見ることができ、ものづくり、経営に関わらず、ひとりの人間として大切なことを学べる展示でした。

建物は1933年、門真に構えた第三次本店を忠実に再現しており、当時としては珍しい最新の西洋建築の特徴を感じ取ることができます。

なお、ものづくりイズム館は建物の老朽化に伴い、**2025年12月26日(金)**をもって閉館いたします。

ご興味のある方は、ぜひお早めに足をお運びください！※松下幸之助歴史館は引き続きご見学いただけます。